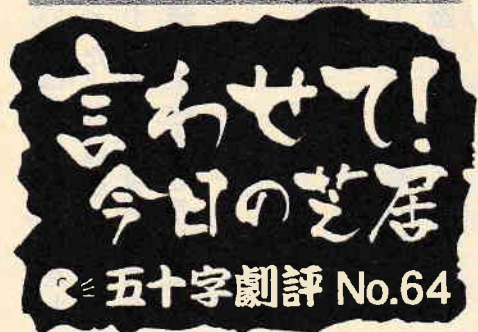


プリエールプロデュース



あぶくの流儀

【六〇代】

▼市民劇場で長年観てきた者として、まず感じたのは「違和感」だ。特に、終盤の踊りと歌のシヨを繰り広げる場面。こんなに長くなくてもよいのではないか。確かに、物語の内容に「ど

んでん返し」があつたりして面白いものにはなっていないと思う。また、シヨの場面も踊りや所作など完璧に近い。さすが大衆演劇のスーパースター、鍛えているなと感じた。しかし、観客を喜ばせることが前面に出てしまい、観終わつたあとに残るものがなかつたのは残念だ。今回の芝居を全面否定するものでは決していないが、今回のようなエンターテイメントに徹した作品をもとに、会員間で「私たちはどんな芝居を観ていきたいのか」について、もっともつと掘り下げて話し合う機会を持ちたいと思う。

(男性)

▼座席が中央の通路側だった。華麗に「夢芝居」を舞つた万太郎が、舞台を降りて

すぐ横を通つた。流し目に射抜かれ、メロメロになつた。後半のどんでん返しに、歌謡シヨとトークが相俟つて、大興奮だつた。

(男性)

▼ここまでヤルか!の芝居後の歌謡シヨ。大ドンデン返しのだまし合いには気づかず。大衆演劇パワーにクラクラ。

(女性)

▼舞台表現の世界を堪能し、役者さんの熱量をいただきました。脚本もおもしろく新劇と大衆演劇の二つの舞台を観せていただいた感じになりました。万太郎が楽屋場面で何度も着替えるところはカッコ良くて目を奪われました。それから客席を向いて白いドーランを塗

るところも手早く、素早く、素晴らしかった。「稽古を重ねているんだろうな!」と実感。また万太郎の動きの細かなところも大胆なところも美しかったです。お芝居が終盤になると思いきや、更にパワーアップしての迫力ある踊りとキラキラした美しさ。塔子のダンスと歌凄かったです。息の合った剣術のシーンも良かった。

(女性) 1

【七〇代】

▼赤いライトが光りかがや。今迄見たことのない光景。下町のおしぼいなんだ!と思いつながら観劇しました。でも鏡も見ないで化粧するなんて...とおどろき。

▼途中からガラツと変わり、おどろきました。最後は楽しく、笑顔に！美しかったです。観れて良かったです。得した気がしました。

(女性)

▼綺麗！恰好イイ！正に「夢に酔う」心持ちで、ややこしい化かし合いはどうでも良くなった。又、同じ芝居を企画してネ。

(女性)

▼若い時は楽しいとは思わなかった。今は楽しいと、私の手と体は音楽が流れると心弾み年を取るのも悪くないね。

▼今日の芝居は何なんだ？？？大衆演劇のサーピス旺盛さはよくわかりまし

た。でも芝居の満足感はありません。化粧をしている場面で、渡辺美佐子さんの一人芝居を思い出しました。あの芝居はよかったなあ。

▼戴いた「うちわ」を眺めてクスツ！と微笑んでいます。将に桜吹雪です。こういう芝居もありかなあと思いつきながら…隣の人と思いつきり笑いました。生でなければこの雰囲気は味わえない!!

(女性)

▼あらずじに「誰が狐でどいつが狸だ」で、誰かが誰かを騙すのだと思つていたらすつかり私は騙されました。詐欺師がいたとは、あまりに調子の良い人は要注意ですね。現在の特殊詐欺にも繋がりますね、私達の

年代が危ないとか皆様もうまい話には気をつけましようね。「あぶくの流儀」最近では聞きませんがあぶく銭にかかっていたのですね。速水映人さんがセリフを言いつつながら化粧をして最後にかつらをかぶり舞台から踊りながら降りて来た時は思わず顔を見直しました。ごく美しかったです。これが大衆演劇の醍醐味かとも思いました。いつもとは違つたお芝居で、初めてお芝居を観る方にもつと紹介すべきだと反省しています。

(女性)

▼何の前知識のない状態で今回の芝居を観ることにしました。何の予想もなしで。前半の楽屋のやり取り。何をかネエ。つまらぬ展開。でもあの青年役のセリフが

何とも場違いなほど、平面的で下手なのか？いや違う。何かある「すみません」と思いつつ、あくびをのみ込んで観続けていました。「あなたは何の物においがする」のセリフで確信に。案の定最後の展開だ…。後半の展開の中で万太郎の化粧のシーンが場面に





係のない様に続きました。私はその化け方出来ばえにばかり気を取られてしまい最後の口紅を入れていく所、その変身ぶりにはもう開いた口が：カツラを付けた途端まさしく女形へ。その後がああ、の庄巻の舞・流し目・一部のすきもない：：キメポーズ、何という芸なんだろうと感激！でも待てよ、

これは私が観たかった演劇とは違うぞ！全く「夢芝居」の大衆演劇そのものだぞ！でもこれも又「芸術だ！」と思わせてくれる舞台でした。
(男性)

▼①今回も毘にはめられた。旭川が千秋楽で映人さんのご挨拶も大サーピス。三つの大罪「殺人、放火、素通り」に笑い出口でBD注文！
②国定忠治の山場とか夜桜お七、シャンソンのショーもあり大衆演劇の良さが満載。終演後のお喋りが二〇分、漫才より笑った。③日本舞踊も夢芝居の歌もうまかった。どんなことになるか予想もつかず、久しぶりに笑った。以上メールでやりとりしたのも、感想なのでよろしく！

(女性①②)

編集スタッフから

お芝居は、観る人によってそれぞれに感じ方が違い、面白いと感じる人もいればそうでもないと感じる人もいます。そこが面白いところで、いろいろな観方があって、芝居の醍醐味なのだと思います。ぜひ、観たお芝居を振り返って、感想を五十字劇評に書いてください。